

募金は「レスキューストックヤード」を通じて、能登半島地震被災者の支援に活用されます。※以下はレスキューストックヤードに関する情報です

災害時の被災者支援

- コーディネーターの派遣
- ボランティアバスの運行
- ボランティア活動資機材の無償貸与
- 被災地復興支援プログラムの企画・運営



令和6年能登半島地震支援

発災直後から現地にスタッフを常駐し、避難所や応急仮設住宅および在宅被災者への息の長い支援を続けています。

地域防災・減災啓発活動

- 町内会や学区自治組織への地域防災プログラム提案・企画・運営
- 災害ボランティアコーディネーター養成講座企画・運営



避難所における感染防止対策研修

コロナ禍における避難所運営のポイントを学ぶ研修を実施しています。

ネットワーク拡充

- なごや災害ボランティア連絡会
- あいち広域ボランティア・NPO 支援本部
- 震災がつなぐ全国ネットワーク
- 全国災害ボランティア支援団体ネットワーク

災害時要配慮者支援

- こども防災、要配慮者対策を考慮した避難所運営ワークショップなどの企画・運営
- 福祉施設等における防災訓練など

レスキューストックヤードと愛知県内の生協が連携して実施した被災地支援活動と地域防災イベント

●「穴水→名古屋子ども交流ツアー」（2024年8月）

レスキューストックヤード主催の「子どもツアー」に県内の生協（アイチョイス、生活クラブ生協、コープあいち）が連携して「食」の面から支援しました。被災地能登から離れた名古屋で、65名の被災地児童は、3日間の行程をいっぱいの笑顔で過ごし、たくさんの思い出をつくりました。

※コープあいちは、朝食とお弁当を提供。



●「穴水町仮設住宅への訪問支援活動」（2024年10月）

県内5つの生協（一宮生協、あいち生協、アイチョイス、生活クラブ生協、コープあいち）の職員15人が、穴水町の仮設住宅を訪問し、“炊き出し”と“サロン活動”を行いました。仮設住宅で不自由なくらしを強いられている被災者に、ほんの一時でも穏やかで楽しい時間を過ごしてもらうために、県内の5生協が一緒に取り組みました。

※レスキューストックヤードは現地でのコーディネートと炊き出しを指導。



●地域防災イベントを共同開催（2025年1月）

昨年の取り組み（上記）を通じて、つちかった災害支援の経験と生協間のつながりを生かして2000年の東海豪雨で被害を受けた天白区（野並）に立地する生活クラブ生協で、県内5生協合同の防災イベントを実施。レスキューストックヤードによる災害パネル展示や、トイレの展示は、来場者の大きな関心を集めました。

